

平成16年3月期 第3四半期業績の概況(連結)

平成16年2月5日

上場会社名 森永製菓株式会社 (コード番号:2201 東証第一部)
 (URL <http://www.morinaga.co.jp>)
 代表者 代表取締役社長 森永 剛太 (TEL: (03) - 3456 - 0112)
 問合せ先責任者 広報部長 橋本 守

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高(又はこれに相当する事項)の会計処理の方法の
 最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況(平成15年4月1日～平成15年12月31日)

(1) 連結売上高(又はこれに相当する事項)

(注)金額の端数処理は百万円未満を切り捨てております。

	百万円	%
16年3月期第3四半期	131,302	—
15年3月期第3四半期	—	—
(参考)15年3月期	173,354	

(注)売上高(又はこれに相当する事項)は、当該四半期までの累計値であり、パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しておりますが、当社グループでは当第1四半期より四半期業績の概況の作成を開始したため、平成15年3月期第3四半期の業績及び対前年四半期増減率につきましては、記載を省略しております。

【売上高に関する補足説明】

当第3四半期の連結売上高は、全体で1,313億2百万円となり、ほぼ計画通りに推移しております。

事業の種類別セグメントの第3四半期に入ってから状況は次のとおりであります。

<食料品製造事業>

菓子部門

菓子部門は、引き続き主力ブランドの強化、店頭を重視した営業政策の推進に取り組んでおります。主力ブランドでは「森永ビスケット」、「ダース」、「チョコボール」は好調に推移しておりますが、「ハイチュウ」、「小枝」が計画を下回っております。菓子部門全体では、ほぼ計画通りに推移しております。

食品部門

「ココア」、「ケーキミックス」が計画を下回っていますが、「ウイダーinゼリー」が好調を持続しており、食品部門全体では、ほぼ計画通りに推移しております。

冷凍部門

主力の「チョコモナカジャンボ」が引き続き好調に推移しているのに加え、「ビスケットサンド」、「マリービスケットサンド」、「クレープ屋さん」等の商品も好調で冷凍部門全体では計画を上回る推移をしております。

これらの結果、<食料品製造事業>の売上高は1,111億3千5百万円となり、ほぼ計画通りに推移しております。

<食料卸売及び飲食店事業>

市場環境が厳しい飲食店部門の苦戦が続いておりますが、事業全体の売上高は182億5千8百万円で、ほぼ計画通りに推移しております。

<不動産及びサービス事業>

ゴルフ事業が入場者数の減少により苦戦しており、事業全体の売上高は計画を下回り15億7千4百万円となりました。

<その他の事業>

売上高は3億3千3百万円であります。

(参考)個別売上高(平成15年4月1日～平成15年12月31日)

	百万円	%
16年3月期第3四半期	113,034	—
15年3月期第3四半期	—	—
(参考)15年3月期	149,401	

(注)売上高(又はこれに相当する事項)は、当該四半期までの累計値であり、パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しておりますが、当社では当第1四半期より四半期業績の概況の作成を開始したため、平成15年3月期第3四半期の業績及び対前年四半期増減率につきましては、記載を省略しております。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象 該当事項はありません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

第3四半期の売上高は、ほぼ計画通りに推移しており、通期の業績予想につきましては、連結、個別共業績予想の修正はありません。

※上記の業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。